

(v) ロードマップ (2030 年度)

取組み	年度									
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
PVの導入促進のための環境整備	若松区響灘地区における電力需給調整 出力制御低減に向けた取組み									
	北九州都市圏域での促進区域の指定									
再エネ100%電力の地産地消	特定卸供給契約の締結促進									
	北九州市公共施設への供給									
	北九州都市圏域公共施設への供給				若松区響灘地区への供給					
第三者所有方式によるPV、EV・蓄電池等の導入	北九州市公共施設に対する導入									
	PVの導入									
	PV+蓄電池(+省エネ機器)の導入									
	民間施設に対する太陽光発電+蓄電池(+省エネ機器)の導入									
	EVシェアリング実証				民間企業間のEVシェアリング普及拡大					
	EVの蓄電池としての活用実証				EVの蓄電池としての活用・普及拡大					
	中小企業への支援 省エネ診断、再エネ100%電力導入可能性評価、各種助成制度の紹介、 オンラインセミナー									
PV・蓄電池リユース・リサイクル産業の創出	リユースPV・蓄電池が市場に流通し始めてから実証開始									

(vi) 取組指標 (2030 年度)

項目	取組指標
特定卸供給契約で確保する電源の出力・件数	125MW (21 件)
オンサイト PV と特定卸供給契約による再エネ供給量	740GWh/年
公用車への電動車導入割合	100%
電動車シェアプロジェクト件数	10 件

② 風力発電の導入促進と風力発電関連産業の総合拠点化

(i) 風力発電の導入促進 【市】【企業】【行政】

洋上風力発電の導入拡大に向けて、響灘の港湾区域における大規模な洋上ウインドファーム事業を推進するとともに、響灘の一般海域<sup>16</sup>に2030年までに10万~20万kWの洋上風力発電の導入を目指します。

響灘の一般海域における洋上風力発電の導入に向けては、再エネ海域利用法に基づく促進区域への指定を目指します。そのために、洋上風力の導入可能性調査を行うとともに、基礎情報の収集や地元関係者との調整など